

ふれあい情報

2026年4月9日(木) 第409号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 宇田川 浩一
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

2026年特別国会における要求実現に向けて 政党へ要請行動を実施

退職者連合は、「政策・制度要求実現 2.13 院内集会」以降、中道改革連合、立憲民主党、国民民主党、公明党に対し、『2026年特別国会に向けた政策・制度要求』の要請行動を実施しました。
 今次国会は、衆議院では与党が3/4議席を占める状況にありますが、私たちの求める様々な課題について熟議される国会運営を求めるとともに、要求実現に少しでも近づけるために関係部門への要請及び意見交換を実施していきます。

要請行動は、3月19日に、4政党それぞれに対して宇田川事務局長および事務局で実施しました。
 冒頭、事務局長より、あいさつおよび要請行動の主旨説明を行い、その後、岩崎副事務局長が要請内容のポイントを説明し、意見交換を行いました。

宇田川事務局長あいさつ



あいさつする
宇田川事務局長

2月の衆議院選挙は「大儀なき解散」が共通の認識であると思いますが、結果は自民圧勝でした。

退職者連合は連合推薦候補者の必勝に向けて取り組みましたが、地方退職者連合は、地方連合会と一体となつて取り組んだものの、選挙区での候補者一本化ができなかったことなどで苦労したとの報告が多くありました。
 衆議院選挙はしばらくないと思われませんが、政治や活

動の先頭に立って進めていただきたいと思えます。

政策・制度要求については、昨年7月に要請させていただき、それ以降、全国で都道府県・市区町村等に対し要請行動を行ってきました。これまで中間集約で約500件の要請件数となっておりますが、その際には各級議員にご協力を頂いた事に感謝申し上げます。

私たちは、平和と民主主義を守り、人権が尊重される社会の実現を目指し取り組んでいきますので、引き続き宜しく願います。

*4党への共通あいさつ

政党との意見交換

宇田川事務局長のあいさつ後、岩崎副事務局長より14項目の要求内容のポイントについて説明を行い、意見交換を行いました。



要求ポイントを説明する岩崎副事務局長

◆2026年特別国会に向けた要求項目

- ① 予算編成の健全化
- ② 雇用改善・子ども子育て支援
- ③ 年金保険制度
- ④ 地域包括ケアネットワークの確立
- ⑤ 医療制度
- ⑥ 介護保険制度
- ⑦ 貧困・生活者対策
- ⑧ 温暖化防止・気候変動対策とエネルギー政策
- ⑨ 地域公共交通を軸とする移動保障の充実
- ⑩ 社会保障としての住宅
- ⑪ 税制
- ⑫ ジェンダー平等
- ⑬ 「食」の安心・安全・安定 持続可能な農業を支える 地域農業の活性化
- ⑭ デジタル化政策

国民民主党

玉木代表、浅野幹事長代行、川合幹事長代行など22名の国会議員、事務局のみなさんに出席していただきました。
 初めに玉木代表は、「どうやって国民を守り、日本の平

意見交換では、党より、食料品2年間限定の消費税率ゼロ議論や、総合課税に対する退職者連合の考え方、高齢独居者の見守りと身元保証人制度の見直しについての検討等の質問がありました。



(上) 玉木代表へ要請書を手交。
(左) 出席して頂いた議員の皆様

和と安全を守っていくのかという非常に重要な時期にある。イラン情勢は国民生活に大きな影響が出てきており、早期の事態收拾やエネルギー価格の抑制に取り組み、退職者連合のお話しを伺い、政策や国会審議に反映させたい。」とあいさつ。

中道改革連合

田嶋企業団体交流委員長、濱地企業団体交流委員長



要請書を手交。右から野間議員・中川議員・濱地議員・田嶋議員・宇田川事務局長・犬飼議員・退連事務局・神谷議員

行など7名の衆議院議員、事務局の皆さんに参加していただきました。

初めに田嶋企業団体交流委員長は、「衆議院選挙でのお力添えにお礼申し上げます。現在、内憂外患で大変な状況にあり、重要な局面に差し掛かっている。世界の平和、暮らしの安定のため、引き続きご指導をいただきたい。」とあいさつがありました。

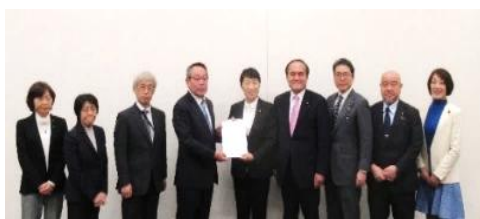
意見交換では、各議員が所属する委員会にて要請の趣旨を踏まえて、前進できるよう取り組んでいきたいとの発

立憲民主党

言があり、「ふるさと納税制度」や介護施設や訪問介護等に関する諸問題、選択的夫婦別姓制度等について意見が交わされました。

最後に濱地議員より、「できるものから一歩ずつ実現していく事が大事だと思うので努力していきたい。」とのあいさつで終了しました。

鬼木議員、吉田議員、辻元議員など、6名の参議院議員、事務局の皆さんに出席していただきました。



要請書を手交。右から古賀議員、鬼木議員、柴議員、吉田議員、辻元議員

はじめに鬼木議員から、「毎年貴重な政策制度要求をいただき、党の政策形成に

寄与して頂いている。大変厳しい政治状況だが衆院が厳しい時だからこそ参院の役割が問われている。皆様とともに取り組みたい。」とあいさつがあり、議員からは①地域交通、②税制、③国民会議、④年金、⑤住まいの保障、⑥エネルギー等の諸問題について、所属の委員会での論議状況等を踏まえた意見が述べられました。

公明党

里見団体渉外委員長、宮崎労働局長、事務局の皆さんに参加していただき、意見交換を行いました。里見団体渉外委員長は、「施策の方向性は選

「核兵器廃絶1000万署名」集約

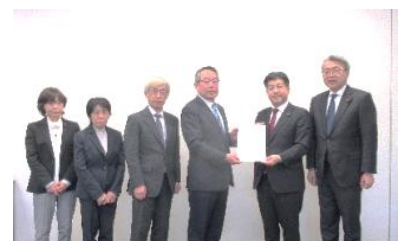
会員の皆様へ御礼

昨年5月15日に「退連発第24-097号」で要請をした約1年間にわたる「核兵器廃絶1000万署名」のご協力ありがとうございました。

<退職者連合集約数>

総署名数 169,015名
+ α (オンライン署名分)

◆参考:連合全体署名数
4,682,508名
(2026.3.31)



里見議員(右から2人目)へ要請書を手交。右は宮崎議員

択的夫婦別姓制度や非核三原則堅持など共通点が非常に多く、こうした関係を継続し、より大きな運動にしていきたい。」とあいさつされ、国会運営状況を話された後、雇用のフリーランス対策、子ども次世代育成、医療・介護、選択的夫婦別姓制度等について意見交換を行いました。